

事業所名		愛の家ジュニア				支援プログラム（参考様式）		作成日	2026 年	1 月	30 日
法人（事業所）理念		地域に根ざした環境の中で障害を持った方でも尊厳を保ちながら家庭的な暮らしが出来るように支援を行います。									
支援方針		事業所の従業者は障害児が生活能力の向上の為に必要な訓練を行い、社会との交流を図ることが出来るように当該児の身体および精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。									
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無		あり	なし		
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康的な生活習慣に対する指導や日常生活における基本動作の自立を促します。 ・手洗いや排泄の自立支援、荷物整理、衣服の着脱などの身辺自立に対する支援を行います。 ・おやつを提供を通じて食育やマナー指導を行います。 ・規則的な生活習慣を整えるサポートおよび知識部分の指導を行います。									
	運動・感覚	身体を動かす遊びや運動を通じて、バランス感覚や筋力を向上させ、協調運動を促しながら楽しく身体機能の発達を支援していきます。 ・トランポリンを用いての全身運動を指導します。 ・安全に移動する為の歩行訓練や屋内外での適切な移動方法を指導します。 ・屋外活動を通じて、体力や運動機能の向上を楽しく自然と触れ合いながら促進していきます。 ・リズム体操やダンス、ボール遊びなどで遊びながら協調運動を促していきます。									
	認知・行動	発達状況に応じた課題提供による認知能力の向上、認知の偏りに対する予防、集中力の向上を目的として支援します。 ・パズルや神経衰弱などで視覚的な認知能力や注意力を高める訓練を行います。 ・ボードゲームやカードゲームなどルールに基づくゲームを用いて支援を行うことでルールに対する理解力や問題解決能力を高める訓練を行います。 ・ロールプレイや感情を読み取るプリントを行うことで感情認識に対する支援を行います。 ・塗り絵、折り紙、点つなぎなど持続的に課題に取り組む力を伸ばす訓練を行います。									
	言語 コミュニケーション	言語訓練及び適切なコミュニケーション能力の獲得を目的とした訓練を行います。 ・正しい口の動きや特定の音が正しく発音できるようにサポートを行います。 ・はい、いいえだけではなく、具体的な返答を返し、会話のキャッチボールを成立させられるよう支援します。 ・敬語や適切な話し方を指導していきます。									
	人間関係 社会性	社会生活における関係性の構築、適応能力、ルールに合わせた行動を学んでいただきます。 ・挨拶の習慣づけ、自己紹介の練習などコミュニケーションの入り口をサポートします。 ・電車やバスなど公共交通機関の利用を訓練します。 ・自身を落ち着ける方法、困った時は友人や職員に相談、助けを求めるなど必要な能力を身に付けるサポートをします。									
家族支援		送迎サービス、保護者に対する説明会の実施、進学就労に関する相談受付、個別相談、子育てに対するサポートやアドバイスなど保護者の不安軽減と子供の成長をサポートする支援を多岐にわたって行っています。				移行支援		小学校から中学校、中学校から高校、ひいては就職まで進学、社会生活、就職など転換期に支援を行います。就労訓練や進路相談にも応じます。			
地域支援・地域連携		自治体や障害福祉課、子ども健康課と連携してより良い支援を共に模索していきます。				職員の質の向上		定期的に全職員を対象とした研修会を開催し、権利擁護や拘束廃止、虐待防止はもちろんのこと、それ以外にも障害者支援に必要な知識や技能の習得を行います。			

主な行事等

クリスマス会、初詣、節分、ひな祭りなど季節ごとに催しや工作を提供し、利用者には四季を楽しみつつ過ごしていただいています。